

有志舎の新刊です。2013年9月下旬発売

新しいシリーズ「講座 東アジアの知識人」全5巻 刊行開始
第1回配本です！

「講座 東アジアの知識人」第1巻

編集委員：趙景達(千葉大学教授)、原田敬一(佛教大学教授)、村田雄二郎(東京大学教授)、安田常雄(神奈川大学特任教授)

文明と伝統社会

—19世紀中葉～日清戦争—

A5判・ハードカバー・380ページ 本体価格 3,600円

第1巻 目次

(章タイトル：執筆者)

1. 西洋との出会い
魏 源：井上裕正
容 闕：園田節子
横井小楠と吉田松陰：須田 努
朴珪壽：山内弘一
2. 文明の発見
阪谷素と明六社：河野有理
福沢諭吉：ひろたまさき
嚴 復：区建英
金玉均と金允植：吉野 誠
3. 伝統社会と宗教
洪秀全と洪仁玕：倉田明子
崔時亨と全璋準：趙景達
中山みき：島菌 進
田中智学と国柱会：大谷栄一
4. 公論の形成
中江兆民：小林瑞乃
岸田俊子と福田英子：長志珠絵
王韜と鄭観応：村田雄二郎
俞吉濬：伊藤俊介
5. 体制と反逆の思想
勝海舟：笹部昌利
李鴻章：岡本隆司
安重根と伊藤博文：小川原宏幸
崔益鉉：慎蒼宇

近現代における、日本・中国・朝鮮を中心に、モンゴル・台湾・ベトナム・チベットも含めた東アジア地域の知識人100人余りを取り上げ、その生き様と思想を比較しながら分かりやすく解説する入門講座です。

第1巻は、アヘン戦争による中国の開国から日清戦争までの期間を扱い、ヨーロッパ「近代」に直面した各地の知識人がどのような思索と活動を行ない、そして近代形成期の地域や人々とどのような関係を結んでいったのかを描きます。同じ儒教文化圏であっても、日・中・朝の3国では開国・攘夷思想の発現の仕方も違い、そこから近代国家形成の道筋も異なっていきます。

21世紀におけるアジア間の相互理解のために、本講座によって様々な地域の「知」が辿ってきたあとを再確認していただきたいと思います。そこから、東アジア発の新しい「知」の創出が始まるはずですよ。

<全5巻の構成>

第2回配本は第2巻で10月刊行予定

以後、毎月ないし隔月で1点ずつ刊行予定

- 第1巻 文明と伝統社会 —19世紀中葉～日清戦争—
- 第2巻 近代国家の形成 —日清戦争～韓国併合・辛亥革命—
- 第3巻 「社会」の発見と変容 —韓国併合～満洲事変—
- 第4巻 戦争と向き合って —満洲事変～日本敗戦—
- 第5巻 さまざまな戦後 —日本敗戦～1950年代—

※内容見本は8月下旬に出来予定

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル 403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印・ご担当	ご注文数	発行：有志舎	分野
		講座 東アジアの知識人 第1巻 文明と伝統社会 趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄 編 本体価格 3,600円 新刊 ISBN978-4-903426-75-4 C1020	歴史学(近現代) 弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は 有志舎 担当：永滝(ナガタキ)まで FAX:03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信いただければ結構です。